



うさぎ亭

～別冊・3・11～

たぶん★うさぎ

戦争を知らない私たち

この出来事はまさしく人生においてかなりの災害でした

3月11日

忘れえぬ一日

皆さんは何を願い何を得ましたか

これからこの1ページ1ページに何かを想ってくれたら

私もうれしいです

たぶん☆うさぎ

あの日はひたすら歩いていました不安を胸にして・・・・・・・・・・。

たどり着いた我が家の団地は電気が通っていなくて真っ暗、本当に真の闇・・・・・・・・。

やっとの事で自力で鍵を開け帰宅することができました。

電気も水道も止まっていた中、無事だったことをひたすら喜んだ。

電池を探してささやかなランプの光、情報はラジオだけが頼りな2時間。

そして電気が復旧してついたテレビで初めて見たのは凄まじい津波の映像・・・・・・・・。

この映像を見たとき無事でいられたこと、本当に良かったと思った瞬間でした。

平和な日常をかみ締めながら毎日を過ごせることが貴重な奇跡だと初めて認識できた一日だったと思います。

日々に感謝。



3年前のあの時、それは大きな衝撃と共にやってきた。

私は徒歩で家まで帰ることにしました。

バスは長蛇の列、電車は止まっていました。

そして県境に流れる川を頼りに歩き出し川につきました。

会社の状況を把握するため家が同じ方向の相棒は先に帰りました。それも心配の中、私もいよいよ歩いての帰宅。

そんなことから3年が経ちました。

とても大きな被害をもたらしたあの地震は私にとっても忘れられないことになりました

。

今日はそれを振り返るため当日にその道程を自転車で見て回りました。この時期に行って私を励ましてくれた梅の花に『ありがとう』を言いたくて。

丁度冬から春への間、川べりには花も少なく唯一咲いていた梅の花や名も知らぬ小さな花達に背中を押されて一步一步進んでいきました。

ここはどこなのか？

一体先はどうなっているのか？

すべてが不安な中、水500ミリリットルを2つとカンパン2つを待って。

この日私たちに起きた災難、かろうじて私の周りはいした被害はありませんでしたが心に刻まれた事は沢山。

お散歩ログもこうしたことから始めるようになりました。



実際はもうすでに日は落ちていました。

停電で真っ暗なところもあれば場所によっては電気も通っていて家の明かりがあるところなど色々でしたが街灯が少ないこの道は車のヘッドライトと月明かりが頼りでした。

わずかな光りの大切さその光りの暖かさを身をもって感じました。
やっと知っている風景が見えたときの嬉しさといったらなかったです。

思わず疲れている足、だけど気持ちは小走りに。

明るいうちは小さな花に励まされ日が落ちてからはわずかな明かりの温もりに向かって
。

私は沢山の人がこれだけ失うことが多かったこの時に少しでも幸せを感じられたことに感謝しなければいけないと思いました。

帰宅後も電気はつかずに水も出ない、はじめに通ったのはガス。持ってきた残りのお水でなんとかラーメンをゆでてわずかな明かりと温もりの中で食べました。

まだまだ積み残した復興、早く皆がわずかな幸せを感じてもらえるようになればいいなあと思うのでした。

忘れてはいけない日、忘れられない日、人それぞれでしょうね。

明日の朝はいい朝ですよと今日の終わりの空に話しかけてみる。

そしてまた明日は来るのです。



今日は4年前に大きな地震のあった日です。

私も本日はその想いを胸に帰路に付いた道を少しばかり通ってきました。

河川工事中でほとんど先へは進めませんでしたがこの川のずっと先から歩いてきたんだなあとしみじみ思います。

あの日も冷たい風が吹いていました、今日と同じように日が照っているのに寒い、心細く一人で歩いてきた川べり。

今は明るい陽射しが照らしますが当時は日暮れから夜へ。

川伝いに歩けばたどり着く、でもどこまで歩けば着くのだろうか？
不安と心配で頭がいっぱいでした。

私は二つの心配事を抱えながら歩いていました。

あの当時、皆さんも心配事を抱えていたことでしょうかね。

私の心配事は無事でしたが、皆様はいかがだったのでしょうか？

大変な時の心配事、それはきっととっても大切な物だったのではないかな？と私も想いかえしております。

皆様が心配だったこと、今でも大切なものですか？

東日本大震災

私が経験したもっとも大きな災害でした。

そして長い人生の中に楔を打ち込んだ出来事でした。

毎年想うのですあの日のことを・・・・・・・・。

そしてブログに書くのです。

そのような背景もあり今回、ブログから抜粋する形で一年一年ページを追加していくことにしました。

これから年が進む中でどれだけの言葉が織り込めるかはわかりませんが紡ぐ言葉が変化していくのかどうか自分でも興味があります。

皆様もこの日起きたこと想ったことこの本を通じて考えてみる一日になると嬉しく思います。

戦争という大きな災害を知らない私たち

このような災害に見舞われたことのなかった私たちの想いが大きな何かになれば良いですね。

私自身この出来事で色々なことを思い動くことができたことだけは大きな収穫だったと思います。

なくすことは簡単、でも0からはじめる事はとても大変です。

何もなくなったところへ少しでも希望の光がキラキラ降り注ぐことを私も思い願います。

